



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月2日

上場会社名 株式会社 東京一番フーズ 上場取引所 東
 コード番号 3067 URL <http://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 大地
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 井野 一三美 (TEL) 03-5363-2132
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績 (平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	2,365	1.3	586	9.3	599	9.8	336	△3.7
25年9月期第2四半期	2,334	0.9	536	4.1	546	4.6	349	1.6

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 336百万円(△3.7%) 25年9月期第2四半期 349百万円(1.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	39.32	38.79
25年9月期第2四半期	40.82	40.49

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第2四半期	2,228	1,657	73.4
25年9月期	1,608	1,318	80.7

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 1,635百万円 25年9月期 1,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00			
26年9月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想 (平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,577	6.1	265	26.4	280	21.9	172	△17.3	20.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年9月期2Q	8,640,500株	25年9月期	8,637,500株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	87,564株	25年9月期	87,500株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年9月期2Q	8,550,942株	25年9月期2Q	8,549,961株

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策および日銀の金融緩和政策により、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。また、海外においては、欧米では景気持ち直しの動きがあるものの、中国経済が低調なまま、先行き不透明な状況で推移しております。

外食産業においては、原材料価格や電気料金等のコスト上昇に伴う収益圧迫、消費税の引き上げによる個人消費の動向変化など、経営環境は依然厳しい状況が続いております。一方、東京オリンピック開催が決定したことに併せて、「和食」がユネスコ文化遺産に登録される等、日本食に対する注目が高まってきており、外国人旅行者の需要に対する期待感が高まってきております。

こうした状況のなか、当社グループは、6次産業化の拡大を推し進めるために、「おいしい寿司と活魚料理 魚の飯」・「うまい寿司と魚料理 魚王KUNI」において当社子会社である株式会社長崎ファームで育てた「平戸本まぐろ 極海一番(きわみいちばん)」及び「長崎ハーブひらまさ」を定番商品として販売し、ブランド化を進めてまいりました。新鮮な商品を計画的に出荷できるため、顧客の定着につながり、好調に業績を伸ばしております。

主力業態の「泳ぎとらふぐ料理専門店 とらふぐ亭」では、店舗運営の一層の効率化を推進し、収益は堅調に推移しました。また、天然ふぐ料理を3,000円台の価格帯で満喫できる「ふぐよし総本店」は好調に業績を伸ばしております。

今後も、高品質な食材をお値打ち感のある価格で提供する方針を維持しつつ、新規店舗展開を図ってまいります。

さらに、クロマグロ・ヒラマサ等の養殖事業は順調に推移しており、「平戸本まぐろ 極海一番」の解体ショーを行うことや、「長崎ハーブひらまさ」を販売店内の水槽で泳がせることで一般顧客に触れる機会を増やし、新鮮かつ高品質をアピールして販売していくことでブランドの定着化を図る方針としております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高23億65百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益5億86百万円(前年同期比9.3%増)、経常利益5億99百万円(前年同期比9.8%増)、四半期純利益3億36百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて6億35百万円増加し、15億23百万円となりました。これは主に、現金及び預金が5億73百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて15百万円減少し、7億4百万円となりました。これは主に、減価償却費を14百万円計上したことによる減少です。

(流動負債)

当第2四半期末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて2億75百万円増加し、5億53百万円となりました。これは主に、未払法人税が2億39百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて5百万円増加し、18百万円となりました。これは主に、長期前受収益が4百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期末の純資産は、前連結会計年度末に比べて3億37百万円増加し、16億57百万円となりました。これは主に、四半期純利益3億36百万円を計上したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期連結累計期間末に比べ1億83百万円増加し、11億77百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は5億82百万円（前年同四半期より1億1百万円の収入増）となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益5億99百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は4百万円（前年同四半期より29百万円の支出減）となりました。主な要因は固定資産の取得による支出2百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は4百万円（前年同四半期より22百万円の支出減）となりました。主な要因は長期借入金の返済による支出5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月30日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております業績予想から変更はありません。

なお、当社グループにおいては通常の営業の形態として、第1四半期及び第2四半期におけるふぐの需要が大きいため、第1四半期及び第2四半期と第3四半期及び第4四半期の業績に著しい季節的変動があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	604,310	1,177,624
売掛金	44,000	87,233
仕掛品	142,565	156,342
原材料	40,296	33,518
その他	57,465	69,214
流動資産合計	888,638	1,523,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,266,987	1,266,987
減価償却累計額	△1,107,361	△1,116,443
建物及び構築物(純額)	159,625	150,543
機械装置及び運搬具	19,128	17,909
減価償却累計額	△15,983	△16,025
機械装置及び運搬具(純額)	3,145	1,884
工具、器具及び備品	290,910	293,668
減価償却累計額	△272,448	△276,592
工具、器具及び備品(純額)	18,461	17,075
土地	147,365	147,365
建設仮勘定	1,691	1,691
有形固定資産合計	330,288	318,559
無形固定資産		
ソフトウェア	1,443	1,179
無形固定資産合計	1,443	1,179
投資その他の資産		
敷金及び保証金	368,204	368,459
破産更生債権等	21,478	21,478
貸倒引当金	△21,478	△21,478
その他	20,063	16,432
投資その他の資産合計	388,268	384,891
固定資産合計	719,999	704,630
資産合計	1,608,637	2,228,565

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,633	69,737
1年内返済予定の長期借入金	5,038	—
未払金	114,659	108,781
未払法人税等	24,436	264,114
賞与引当金	15,390	13,240
その他	61,261	97,139
流動負債合計	277,419	553,014
固定負債		
その他	12,772	18,170
固定負債合計	12,772	18,170
負債合計	290,191	571,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	472,295	472,806
資本剰余金	374,295	374,806
利益剰余金	481,829	818,059
自己株式	△30,339	△30,357
株主資本合計	1,298,080	1,635,314
新株予約権	20,365	22,066
純資産合計	1,318,446	1,657,381
負債純資産合計	1,608,637	2,228,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	2,334,687	2,365,382
売上原価	616,060	615,601
売上総利益	1,718,626	1,749,780
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	308,611	290,206
雑給	161,611	153,528
賞与引当金繰入額	13,130	13,240
広告宣伝費	14,346	10,168
販売促進費	7,626	11,678
地代家賃	213,121	213,369
減価償却費	15,497	13,662
その他	448,553	457,728
販売費及び一般管理費合計	1,182,497	1,163,583
営業利益	536,129	586,197
営業外収益		
受取利息	128	89
協賛金収入	3,926	6,964
負ののれん償却額	2,574	—
その他	3,939	6,509
営業外収益合計	10,569	13,562
営業外費用		
支払利息	538	44
その他	144	222
営業外費用合計	683	266
経常利益	546,015	599,492
特別利益		
新株予約権戻入益	1,992	—
特別利益合計	1,992	—
特別損失		
固定資産除却損	17	45
特別損失合計	17	45
税金等調整前四半期純利益	547,990	599,447
法人税、住民税及び事業税	198,947	263,216
法人税等合計	198,947	263,216
少数株主損益調整前四半期純利益	349,043	336,230
四半期純利益	349,043	336,230

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	349,043	336,230
四半期包括利益	349,043	336,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	349,043	336,230

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	547,990	599,447
減価償却費	18,067	14,705
負ののれん償却額	△2,574	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,993	△2,150
受取利息及び受取配当金	△128	△89
支払利息	538	44
新株予約権戻入益	△1,992	—
固定資産除却損	17	45
売上債権の増減額 (△は増加)	△35,992	△43,233
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△74,116	△6,999
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,976	13,104
その他	28,127	33,182
小計	494,907	608,057
利息及び配当金の受取額	128	89
利息の支払額	△556	△44
法人税等の支払額	△13,221	△25,689
営業活動によるキャッシュ・フロー	481,258	582,412
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,664	△2,758
貸付けによる支出	△508	—
貸付金の回収による収入	1,211	860
長期前払費用の取得による支出	△2,729	△2,569
その他	△803	△255
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,494	△4,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△17,500	—
長期借入金の返済による支出	△9,282	△5,038
自己株式の取得による支出	—	△18
株式の発行による収入	210	681
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,572	△4,375
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	420,191	573,314
現金及び現金同等物の期首残高	573,620	604,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	993,812	1,177,624

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

当社グループにおいては、飲食事業及び水産物の販売を行っております。水産物の販売は重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

当社グループにおいては、飲食事業及び水産物の販売を行っております。水産物の販売は重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。